

**製品名: HACE1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86102**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	102.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HACE1
別名	E3 ubiquitin-protein ligase HACE1, 6.3.2.-, HECT domain and ankyrin repeat-containing E3 ubiquitin-protein ligase 1, HACE1, KIAA1320
遺伝子 ID	57531.0
SwissProt ID	Q8IYU2
免疫原	この HACE1 抗体は、ヒト HACE1 のヒト領域からの組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

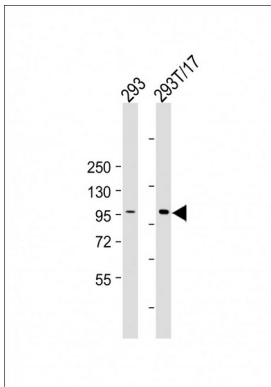
**背景**

E3 ユビキチンタンパク質リガーゼは、ゴルジ体膜融合および低分子 GTPase の制御に関与する。細胞周期中のゴルジ体膜動態の調節因子として機能し、Rab タンパク質によってゴルジ体膜にリクルートされ、有糸分裂後のゴルジ体膜融合を制御する。有糸分裂中のゴルジ体分解時にユビキチン化を媒介し、このユビキチン化は細胞分裂後のゴルジ体再構成のシグナルとなる。特異的に GTP 結合 RAC1 と相互作用し、活性 RAC1 のユビキチン化とそれに続く分解を媒介することで、病原体に対する宿主防御に役割を果たす。また、RARF との相互作用を介して転写調節因子として機能する可能性がある。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗 HACE1 抗体 (1:2000 希釈)